

5年	科目	工業英語Ⅱ	講義	前期	担当	長縄一智 NAGANAWA Kazutomo
制御情報工学科		English for Engineering Ⅱ	必修	1学修単位(講義30+ 自学自習15)		
授業の概要						
ものづくりの主要な構成部門である研究、設計、生産の各現場で必要となる英語でのコミュニケーション能力の習得を主とする。副次的に、ものづくりのための各種工程や手法、技術要素などについての知識を習得する。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)		実践指針 (プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
D. コミュニケーション能力を備え、国際的に発信し、活躍できる能力		(D2) 自己の研究成果の概要を英語で記述し、発表することができる。		(D2-3) 自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解でき、自己の研究成果等の概要を英語で分かりやすくまとめることができる。		
授業目標						
(1)ものづくりに関する日本語を正しく英語に翻訳することができる。※(D2-3) (2)ものづくりに関する英語を正しく日本語に翻訳することができる。 (3)ものづくりに関して使われている英語について、その派生語を記述することができる。 (4)ものづくりの様々な業務内容やものづくりのプロセスについて説明することができる。 ※上述(1)については、卒業研究にて要求される英文アブストラクト作成に向けた基礎知識と見なす。						
授業計画						
第1回	オリエンテーション	本プログラムの目的、授業の進め方、評価方法の説明、英語学習法など				
第2回	英語表現の習得	§ 1. 開発				
第3回	〃	§ 2. 設計①				
第4回	〃	§ 2. 設計②				
第5回	〃	§ 3. 生産技術①				
第6回	〃	§ 3. 生産技術②				
第7回	〃	§ 4. 生産管理①				
中間試験						
第8回	中間試験解説・英語表現の	§ 4. 生産管理②				
第9回	英語表現の習得	§ 4. 生産管理③				
第10回	〃	§ 4. 生産管理④				
第11回	〃	§ 5. 現場管理①				
第12回	〃	§ 5. 現場管理②				
第13回	〃	§ 5. 現場管理③				
第14回	〃	§ 5. 現場管理④				
期末試験						
第15回	期末試験解説・小テスト					
評価方法と基準	:「試験」は、中間、期末試験と小テスト1回のそれぞれが100点満点(合計300点)で、合計の重み80%。「課題レポート」が20%の重みとして評価する。試験の中で、授業目標1(D2-3)部分の点数が標準基準(6割)以上で、かつレポートを含めた全体評価が60点以上の場合に合格とする。評価基準については、成績評価基準表による。					
教科書等	もの作りの英語表現 松崎久純著 三修社 2000円+税					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					